

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成26年6月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市 港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 26 年 6 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1 事後調査の概要（平成 26 年 6 月）

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 表-1(1)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	6月1日～30日	通年連続

(2) 水質（一般項目）表-1(2)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	6月3日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

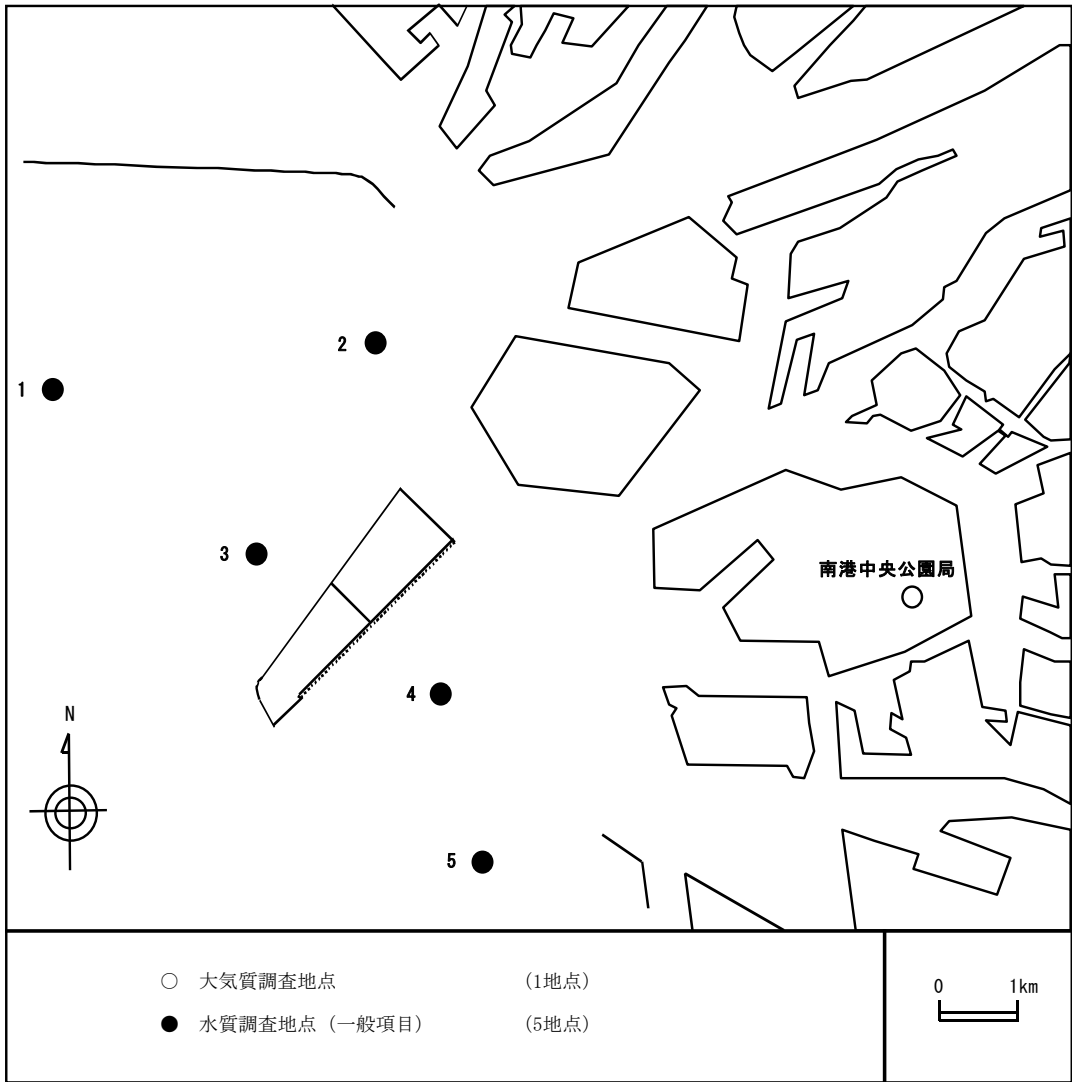
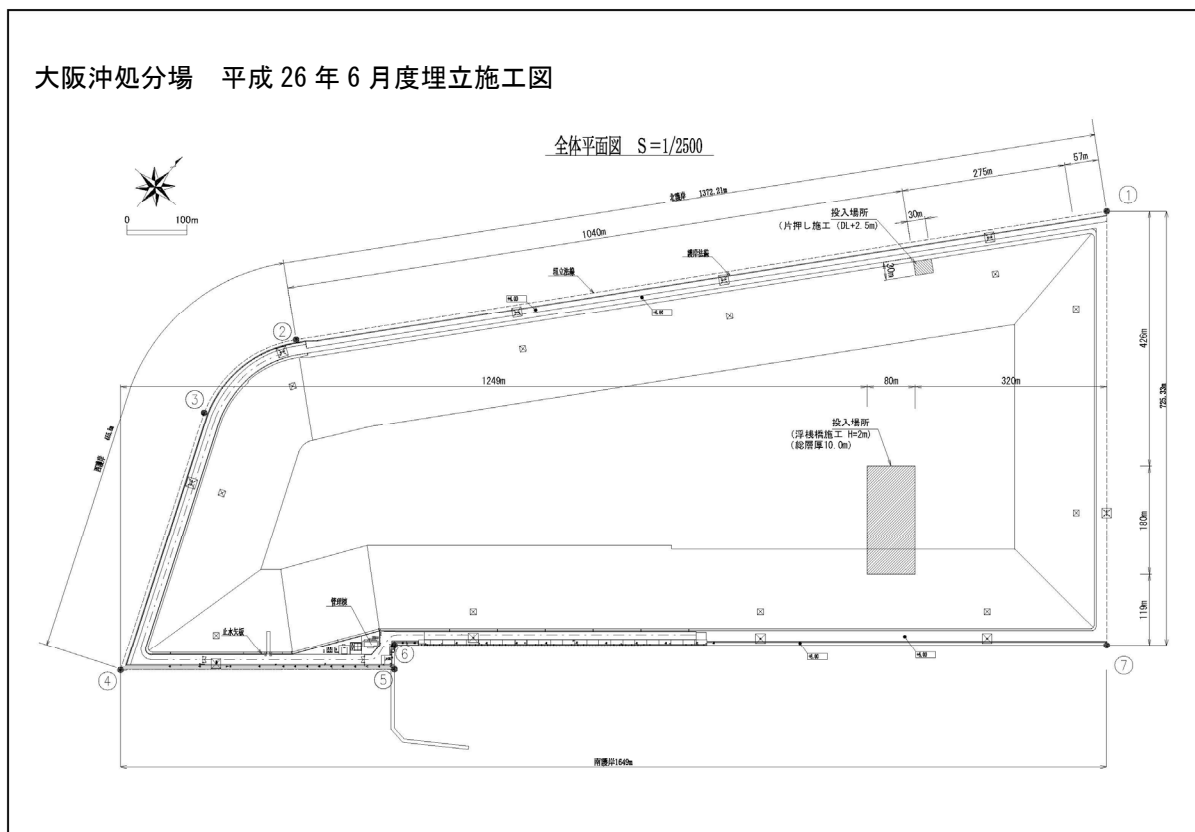


図-1 大気質、水質(一般項目)の調査地点 (平成 26 年 6 月)

2. 工事の実施状況

平成 26 年 6 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。

大阪沖処分場平面図



埋立量 (m ³)	進捗率 (%)
2,779,786	19.9

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (平成 26 年 6 月)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.007ppmであった。また、日平均値の最高値は0.011ppm、1時間値の最高値は0.022ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.023ppmであった。また、日平均値の最高値は0.037ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.036mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.079mg/m³、1時間値の最高値は0.099mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

(2) 水質(一般項目) [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度(pH)は上層で8.6～8.8、下層で8.2～8.4の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲を上回り、下層では調査地点1において環境基準値の範囲を上回っていたが、その他の調査地点では環境基準値の範囲内にあった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(8.6)、調査地点2(8.8)、調査地点3(8.7)、調査地点4(8.6)、調査地点5(8.6)及び下層における調査地点1(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)では上層で7.7～8.6、下層で7.8～8.3の範囲であり、調査地点2、3の上層及び調査地点1の下層でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量(COD)は上層で3.9～10mg/L、下層で2.7～3.9mg/Lの範囲にあり、調査地点3の下層を除く全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(5.5mg/L)、調査地点2(10mg/L)、調査地点3(6.3mg/L)、調査地点4(5.3mg/L)、調査地点5(3.9mg/L)及び下層における調査地点1(3.9mg/L)、調査地点2(3.8mg/L)、調査地点4(3.2mg/L)、調査地点5(3.2mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/L、下層で1.2～3.6mg/Lの範囲であり、下層については調査地点1、2でこの範囲を若干上回っていたものの概ね同程度の値であったが、上層については調査地点1、2、3、4でこの範囲を上回っていた。

調査当日、各調査地点では赤潮が確認されており、上層ではほぼ全地点でクロロフィルa、

水素イオン濃度(pH)及び溶存酸素量(DO)の値が高くなっていることから、植物プランクトンの活動が活発であったと考えられた。また、本調査と同一日に調査が実施された近傍の環境基準点 C-3 (南港西) においても赤潮が確認されており、上層の化学的酸素消費量(COD)は 9.7mg/L と高い値となっていたことから、植物プランクトンの増殖の影響を受けて化学的酸素消費量(COD)の値が高くなったものであり、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 9.4~12mg/L、下層で 3.8~6.0mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 1 を除く全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層における調査地点 2 (4.1mg/L)、調査地点 3 (4.8mg/L)、調査地点 4 (3.8mg/L)、調査地点 5 (4.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.58~2.2mg/L、下層で 0.32~0.53mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 5 を除く全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.68mg/L)、調査地点 2 (2.2mg/L)、調査地点 3 (0.78mg/L)、調査地点 4 (0.79mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、調査地点 2 でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値：0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.052~0.43mg/L、下層で 0.029~0.051mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1 において環境基準値を上回っていたが、その他の調査地点では環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.081mg/L)、調査地点 2 (0.43mg/L)、調査地点 3 (0.11mg/L)、調査地点 4 (0.091mg/L)、調査地点 5 (0.052mg/L) 及び下層における調査地点 1 (0.051mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、調査地点 2 の上層でこの値を上回っていた。

本調査と同一日に調査が実施された近傍の環境基準点 C-3 (南港西) においても、上層の全燐(T-P)は 0.31mg/L と高い値となっていたことから、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 3.0～18 度(カリン)、下層で 2.3～5.1 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質 (SS)

浮遊物質 (SS) は上層で 5～29mg/L、下層で 2～4mg/L の範囲であった。

8) コロフィル a

コロフィル a は上層で 9.5～330 μ g/L、下層で 5.1～29 μ g/L の範囲であった。

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.1ppm 以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1 時間値の 1 日平均値が 0.04ppm から 0.06ppm までの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1 時間値の 1 日平均値が 0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1 時間値が 0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8 以上 8.3 以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L 以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L 以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L 以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L 以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及び n-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD 又は COD）の評価方法について（昭和 52 年環水管 52 号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が 75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ 0.75×n 番目（n は日間平均値のデータ数）のデータ値をもって 75%水質値（0.75×n 番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち 75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成26年6月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	716
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	30
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	717
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成26年6月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.011	0.021
	2 (月)	0.010	0.019
	3 (火)	0.008	0.019
	4 (水)	0.005	0.012
	5 (木)	0.005	0.014
	6 (金)	0.006	0.015
	7 (土)	0.005	0.009
	8 (日)	0.008	0.012
	9 (月)	0.006	0.009
	10 (火)	0.006	0.010
別	11 (水)	0.005	0.011
	12 (木)	0.004	0.009
	13 (金)	0.006	0.010
	14 (土)	0.008	0.014
	15 (日)	0.008	0.013
	16 (月)	0.010	0.015
	17 (火)	0.011	0.022
	18 (水)	0.008	0.017
	19 (木)	0.006	0.012
	20 (金)	0.007	0.011
値	21 (土)	0.007	0.010
	22 (日)	0.003	0.008
	23 (月)	0.006	0.017
	24 (火)	0.006	0.010
	25 (水)	0.006	0.012
	26 (木)	0.006	0.017
	27 (金)	0.007	0.015
	28 (土)	0.004	0.011
	29 (日)	0.004	0.008
	30 (月)	0.007	0.014
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.007	
日平均値の最高値 (ppm)		0.011	
1時間値の最高値 (ppm)		0.022	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成26年6月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日	1 (日)	0.001	0.005
	2 (月)	0.006	0.035
	3 (火)	0.002	0.008
	4 (水)	0.002	0.006
	5 (木)	0.002	0.004
	6 (金)	0.005	0.016
	7 (土)	0.007	0.041
	8 (日)	0.001	0.003
	9 (月)	0.002	0.010
	10 (火)	0.006	0.017
別	11 (水)	0.009	0.024
	12 (木)	0.005	0.020
	13 (金)	0.002	0.007
	14 (土)	0.002	0.013
	15 (日)	0.000	0.001
	16 (月)	0.001	0.009
	17 (火)	0.005	0.030
	18 (水)	0.002	0.017
	19 (木)	0.005	0.030
	20 (金)	0.003	0.018
値	21 (土)	0.002	0.014
	22 (日)	0.000	0.001
	23 (月)	0.002	0.005
	24 (火)	0.004	0.019
	25 (水)	0.003	0.013
	26 (木)	0.002	0.005
	27 (金)	0.005	0.014
	28 (土)	0.001	0.003
	29 (日)	0.000	0.003
	30 (月)	0.002	0.008
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.041	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

大気質様式第4号（埋立地関連）

二酸化窒素測定結果 [平成26年6月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (ppm)	1時間値の 最高値 (ppm)
日別 値	1 (日)	0.023	0.048
	2 (月)	0.037	0.077
	3 (火)	0.026	0.050
	4 (水)	0.025	0.044
	5 (木)	0.017	0.028
	6 (金)	0.034	0.058
	7 (土)	0.026	0.048
	8 (日)	0.017	0.028
	9 (月)	0.019	0.038
	10 (火)	0.023	0.037
	11 (水)	0.019	0.024
	12 (木)	0.020	0.029
	13 (金)	0.020	0.035
	14 (土)	0.019	0.035
	15 (日)	0.012	0.026
	16 (月)	0.025	0.049
	17 (火)	0.033	0.069
	18 (水)	0.030	0.048
	19 (木)	0.029	0.049
	20 (金)	0.025	0.044
	21 (土)	0.022	0.042
	22 (日)	0.012	0.027
	23 (月)	0.024	0.042
	24 (火)	0.026	0.040
	25 (水)	0.025	0.041
	26 (木)	0.022	0.042
	27 (金)	0.028	0.045
	28 (土)	0.019	0.036
	29 (日)	0.012	0.024
	30 (月)	0.024	0.043
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		716	
月平均値 (ppm)		0.023	
日平均値の最高値 (ppm)		0.037	
1時間値の最高値 (ppm)		0.077	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成26年6月分]

測 定 局		南港中央公園		
項 目		日 平 均 値		1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (日)	0.023	97.2	0.051
	2 (月)	0.043	85.4	0.108
	3 (火)	0.029	92.0	0.056
	4 (水)	0.026	94.1	0.050
	5 (木)	0.019	91.4	0.032
別	6 (金)	0.039	86.1	0.070
	7 (土)	0.033	78.5	0.089
	8 (日)	0.018	93.5	0.031
	9 (月)	0.021	90.4	0.041
	10 (火)	0.029	79.9	0.052
	11 (水)	0.028	68.9	0.044
	12 (木)	0.025	79.1	0.048
	13 (金)	0.022	90.5	0.036
	14 (土)	0.021	90.8	0.048
	15 (日)	0.012	98.7	0.027
値	16 (月)	0.027	94.6	0.058
	17 (火)	0.038	86.3	0.098
	18 (水)	0.033	92.7	0.065
	19 (木)	0.034	84.9	0.072
	20 (金)	0.028	89.8	0.060
	21 (土)	0.024	90.4	0.056
	22 (日)	0.012	98.7	0.027
	23 (月)	0.026	91.2	0.046
	24 (火)	0.030	87.4	0.053
	25 (水)	0.027	89.6	0.045
	26 (木)	0.024	92.3	0.047
	27 (金)	0.033	84.8	0.054
	28 (土)	0.020	94.6	0.037
	29 (日)	0.013	96.3	0.027
	30 (月)	0.026	94.1	0.051
有 効 測 定 日 数 (日)		30		
測 定 時 間 (時間)		716		
月 平 均 値 (ppm)		0.026		
日 平 均 値 の 最 高 値 (ppm)		0.043		
1 時 間 値 の 最 高 値 (ppm)		0.108		
月 平 均 値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		88.5		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂/(NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2/(\text{NO}+\text{NO}_2) =$$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成26年6月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値 (mg/m ³)	1時間値の 最高値 (mg/m ³)
日	1 (日)	0.079	0.099
	2 (月)	0.062	0.087
	3 (火)	0.036	0.052
	4 (水)	0.038	0.056
	5 (木)	0.019	0.030
	6 (金)	0.027	0.052
	7 (土)	0.035	0.066
	8 (日)	0.022	0.040
	9 (月)	0.030	0.056
	10 (火)	0.033	0.047
別	11 (水)	0.026	0.049
	12 (木)	0.022	0.041
	13 (金)	0.023	0.039
	14 (土)	0.039	0.060
	15 (日)	0.058	0.076
	16 (月)	0.060	0.078
	17 (火)	0.059	0.079
	18 (水)	0.036	0.072
	19 (木)	0.038	0.054
	20 (金)	0.037	0.052
値	21 (土)	0.031	0.059
	22 (日)	0.028	0.046
	23 (月)	0.029	0.045
	24 (火)	0.027	0.052
	25 (水)	0.036	0.064
	26 (木)	0.045	0.060
	27 (金)	0.028	0.057
	28 (土)	0.016	0.032
	29 (日)	0.030	0.057
	30 (月)	0.041	0.055
有効測定日数 (日)		30	
測定時間 (時間)		717	
月平均値 (mg/m ³)		0.036	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.079	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.099	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。
 その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）
 は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成26年6月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (日)	0.8	1.5	W	W
	2 (月)	1.1	2.9	W	WNW
	3 (火)	0.9	2.4	WSW	CALM
	4 (水)	1.9	3.5	ESE	E
	5 (木)	2.7	4.5	NE	NE
	6 (金)	1.1	2.5	NE	NE
	7 (土)	0.7	1.8	ESE	CALM
	8 (日)	1.1	2.5	WSW	WNW
	9 (月)	0.9	2.2	WSW	WNW
	10 (火)	0.8	1.5	WSW, SW, W	W, CALM
別	11 (水)	1.5	3.0	E	ENE
	12 (木)	0.8	1.9	WSW	WSW, N
	13 (金)	1.3	3.1	WSW	WSW
	14 (土)	0.9	2.5	SW	SW
	15 (日)	1.0	2.1	SW	SW
	16 (月)	0.8	1.7	SW, WSW	W
	17 (火)	0.9	2.4	WSW	WSW
	18 (水)	1.2	2.9	NE	NE
	19 (木)	1.0	2.9	WSW	WSW
	20 (金)	0.9	2.5	SW	W
値	21 (土)	0.8	1.7	W, WSW	CALM
	22 (日)	0.7	1.5	ENE, WSW	CALM
	23 (月)	0.6	1.5	W	W, CALM
	24 (火)	0.9	2.8	WSW	N, CALM
	25 (水)	1.0	2.5	WSW	WSW
	26 (木)	0.8	3.0	W	W
	27 (金)	0.9	2.0	E	CALM
	28 (土)	1.1	2.6	NE	NNE
	29 (日)	1.0	2.5	SW	SW, CALM
	30 (月)	0.7	1.4	NW, SW	CALM
測定時間 (時間)		720			
月平均風速 (m/s)		1.0			
月最大風速 (m/s)		4.5			
月最多風向 (16方位)		WSW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号 (埋立地関連)

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成26年6月分]

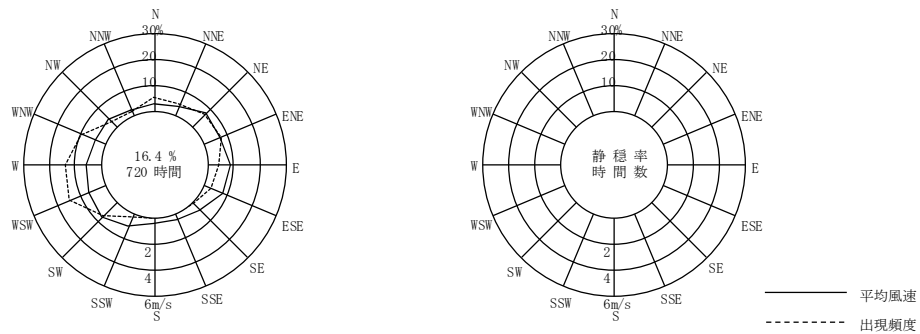
項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	34	50	53	32	22	7	2	1	7	51	104	95	71	21	12	40	118	720
頻度 (%)	4.7	6.9	7.4	4.4	3.1	1.0	0.3	0.1	1.0	7.1	14.4	13.2	9.9	2.9	1.7	5.6	16.4	-
平均風速 (m/s)	0.8	1.6	1.4	1.8	1.6	0.8	0.5	0.4	1.0	1.5	1.3	1.1	0.8	0.9	0.5	0.6	0.2	-

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

測定局:南港中央公園局

風向風速計高さ:14.2m

凡例



注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成26年6月分]

水質調査結果（一般項目）[平成26年6月分]

調査日：平成26年6月3日

項目	調査点					最小値 ~ 最大値	平均値	
	1	2	3	4	5			
時刻	8:40	8:08	9:05	10:03	9:36	—	—	
透明度 [m]	2.5	1.1	1.7	1.5	3.0	1.1 ~ 3.0	2.0	
水温 [°C]	22.4	22.1	22.2	22.6	22.7	22.1 ~ 22.7	22.4	
	16.7	16.1	16.4	16.4	16.4	16.1 ~ 16.7	16.4	
塩分 [—]	27.12	26.72	27.39	26.02	27.70	26.02 ~ 27.70	26.99	
	32.37	31.95	32.23	32.10	32.24	31.95 ~ 32.37	32.18	
濁度 [度(カリン)]	7.3	18	9.3	8.2	3.0	3.0 ~ 18	9.2	
	3.7	5.1	2.3	3.3	2.5	2.3 ~ 5.1	3.4	
浮遊物質量 (SS) [mg/L]	14	29	6	6	5	5 ~ 29	12	
	4	4	3	2	3	2 ~ 4	3	
水素イオン濃度 (pH) [—]	8.6	8.8	8.7	8.6	8.6	8.6 ~ 8.8	—	
	8.4	8.2	8.2	8.2	8.3	8.2 ~ 8.4	—	
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	5.5	10	6.3	5.3	3.9	3.9 ~ 10	6.2	
	3.9	3.8	2.7	3.2	3.2	2.7 ~ 3.9	3.4	
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.4	12	11	12	11	9.4 ~ 12	11
	飽和度 [%]	6.0	4.1	4.8	3.8	4.2	3.8 ~ 6.0	4.6
全窒素 (T-N) [mg/L]	127	161	148	162	150	127 ~ 162	150	
	75	51	60	47	52	47 ~ 75	57	
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.68	2.2	0.78	0.79	0.58	0.58 ~ 2.2	1.0	
	0.44	0.53	0.32	0.40	0.40	0.32 ~ 0.53	0.42	
全燐 (T-P) [mg/L]	0.081	0.43	0.11	0.091	0.052	0.052 ~ 0.43	0.15	
	0.051	0.035	0.029	0.045	0.041	0.029 ~ 0.051	0.040	
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]	39	330	56	36	9.5	9.5 ~ 330	94	
	15	29	7.2	10	5.1	5.1 ~ 29	13	

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
